

福津市ではSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます

環境掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019 FAX43・9005
E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp

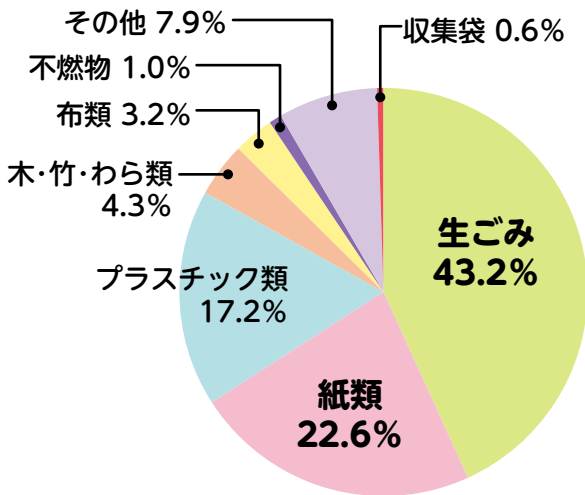


2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



ごみの減量にご協力ください

市は平成29年度に家庭から出る燃やすごみ袋の中身の調査を行いました。結果は以下のグラフのようになりました。



▲ごみ袋の中身の調査結果

生ごみについて

ごみ袋の中身の約43%が生ごみであり、その8割が水分でした。生ごみの減量のために「3きり運動」の協力をお願いします。

「使いきり」

冷蔵庫をチェックし、不必要なもの・買う予定のないものは買わず、なるべく食材の捨てる部分を少なくする工夫をしましょう。

「食べきり」

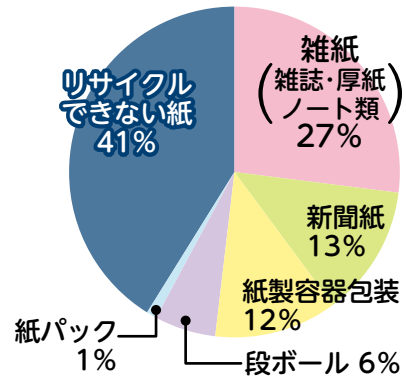
食べきれぬ量だけを作り、残ったものは冷蔵庫などで保存して食べましょう。外食時は食べきれぬ量だけ注文しましょう。

「水きり」

生ごみを出す前の「ひと絞り」や、一晩乾燥させるなどして、水分をなるべく落としましょう。

紙類について

ごみ袋の中身の約23%が紙類であり、その6割がリサイクルできるものでした。新聞紙や段ボール、紙箱、封筒、トイレトーパーの芯なども再生できるものがほとんどです。これらのものは、自治会などが行っている集団回収やスーパーなどでの回収、市の設置している古紙・古着回収倉庫を利用して、燃やすごみの減量にご協力をお願いします。



▲ごみ袋の中身の紙類の割合

分別収集について

燃やすごみ袋の中には、ハンガーなどの「金属混合物」や「プラ容器包装・食品用トレイ」、「ペットボトル」などの分別収集品目となっているものも多く含まれていました。これらを適切に分別収集に出してもらっただけでも、ごみの減量につながります。特に「金属混合物」は、燃やすごみ袋の中に入れてしまうと、清掃工場の焼却炉の中で溶けて固まってしまい、円滑な業務を妨げることにもなります。これを「ワイヤーソーセージ」と呼んでいます。リサイクルの推進のためにも、分別収集の徹底をお願いします。



▲ワイヤーソーセージは機械に絡みついてしまいます